

東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、841人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめるなどして、できる限り掲載するよう努めた。回答者数の内訳及び主な意見・要望と各件数は、以下のとおりである。

回答者数の内訳（単位＝人）

	回答者数
父	275
母	566
計	841

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

	内 容	父	母	合計
1	保育に関すること	53	173	226
2	児童健全育成	12	67	79
3	学校・教育	11	49	60
4	子育て支援	48	128	176
5	児童に関する手当	27	31	58
6	ひとり親家庭福祉	3	32	35
7	住環境	22	52	74
8	バリアフリー	7	16	23
9	保健・医療	15	55	70
10	児童虐待	8	26	34
11	広報	39	48	87
12	調査関係	50	61	111
13	その他	57	92	149
	合 計	352	830	1,182

※お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な意見・要望は以下のとおりである。

1 保育に関すること

- ・ 保育園の数をふやすだけでなく、質も向上させてください。(30代、母親)
- ・ 出産や育児の為に一度仕事をやめてしまうと、保育園等に入れなかったりするため、母親の社会復帰はとても困難な状況にある。フルタイム以外で細く長く社会とつながりを持ちたい母親もいるので、そういう方にも保育園に入れるような仕組みが必要。(30代、母親)
- ・ 認可保育所に落ちてしまい、やむを得ず育児休業を延長しています。今後、認可保育所に入れるのか、仕事に復帰できるのか、不透明な状況で非常に不安です。仕事をしたい人全員が認可保育所に子供を預けられるよう、認可保育所の定員を増やす事を切望します。(30代、母親)
- ・ 保育園に関しては、保育士さんの給与を上げる等が質の向上にもつながると思うので、もっと前向きに東京都で取り組んで欲しい。(30代、母親)
- ・ 一時保育など、親が病気の時など気軽に子供をあずかってもらう場所が欲しい。病気やケガなどでは、予約して預かってもらう、今の保育園の状況だときびしい。(30代、母親)

2 児童健全育成

- ・ 学童保育の長期休み時の預かり時間を早めて頂きたいです。朝早くて8時からなのですが、7時半くらいにして頂かないと、電車通勤の会社員は仕事に間に合いません。特に1年生はまだ幼く、心配なので改善を望みます。(30代、母親)
- ・ 区により学童の受け入れ年齢に差があるため、全区で6年生まで受け入れてほしい。(40代、母親)
- ・ 小1の壁・小3の壁により、職を離れざるを得ない人が周囲にいるため、学童・学童以外でも子供が放課後に過ごせる場の充実を希望します。(30代、母親)

3 学校・教育

- ・ 小・中学校の特別支援学級を増やしてほしい。理想は小・中学校に1学級。(30代、母親)
- ・ 発達障害の子が急激に増えているように感じます。教育現場の対応が追いついていないので、先生の正しい知識習得の整備を早急に行ってほしいです。(30代、母親)
- ・ 教員の人員配置を厚くして小～高のいじめ防止、不登校の生徒を出さないようなクラス作り等の取り組みをして欲しいです。(30代、母親)
- ・ 小学校、中学校などの給食代や教育書代など、義務教育は全て無償化してもらいたい。(30代、父親)
- ・ 合理的配慮に対する認識不足を感じる場面が多い教員の研修の場面において、全教員に障害者差別解消法の周知徹底して頂き、障害を持った子達も健常な子供達も同じような教育を受け生活出来るよう、柔軟な理解と対応が出来るようにご指導頂きたい。(40代、父親)

4 子育て支援

- ・ 病気など緊急時に利用できるサポートサービスについて、事前の登録や利用申し込みが必要ですが、病気は計画的ではなく突然なるものなので、突発的に利用できるサービスがあると大変助かります。(30代、母親)
- ・ 子供が病気で休んだ際には、パート先を休むとは言いづらい環境で、年老いた親に頼むことがあります。病気の時こそ預けられる施設の充実を切に願います。(40代、母親)
- ・ 子どもが熱をだしたりしたら、「預けられなくて困る」という考えが多い気がしますが、個人的にはそういう時は自分で付き添いたいので、仕事を休みやすくなる方が支援の方向性としてはうれしいです(30代、母親)
- ・ 経済的援助よりも子供を安心して預けられる環境や子供のことを安心して相談できる場を更に充実させて、PRして、みんなが育てやすい環境づくりを望みます。核家族化が進む中、必ずしも親に相談できる人ばかりではないので、専業主婦で子育て中の人は孤立して、追い込まれやすいです。産後1ヶ月に助産婦さんが自宅を訪問してくれた時、涙が出るほど嬉しかったし、救われました。(30代、母親)
- ・ 男性の育児休暇の取得があたりまえになる社会の実現を望んでいます。(40代、母親)

- ・ 親の帰りが遅い子もそうでない子も、仕事帰りの親も、地域に何か貢献したい方も、色々な方が集まれるような子ども食堂的な場所ができれば、多様な経験や能力の引継ぎ、世代間の交流が期待できるのではと思います。(40代、母親)
- ・ 子育てに関して医療制度も含め東京都内は一律統一してほしい。同じ子育てをしているのに地域で格差があるのはおかしいと思う。(40代、母親)

5 児童に関する手当

- ・ 児童手当等の経済的支援は大変ありがたいですが、3才になって金額が下がった事に疑問を感じます。どちらかと言えば、赤ちゃんの時よりも食べる量も増え、出掛ける場所も広がり、3才以降の方がお金が掛かる事が多いのになぁと思います。(40代、母親)
- ・ 子供手当等の所得制限をなくして、全員に平等に支給されるようにして欲しいです。(30代、母親)
- ・ 児童手当等子供の教育にかかわる給付金を年収などで区切らないでほしい。高齢出産をした家では年齢が高いから年収も高くなる。しかし退職時期はすぐやってくる。年金も不安な上、子供の教育に関しては同等にしてほしい。(40代、母親)

6 ひとり親家庭福祉

- ・ 思春期の子どものサポートが欲しいです。小さい頃は施設等のインフラに助けられましたが大きくなるとお金でも解決できない子どもの心のサポートがあると大変助かります。(40代、父親)
- ・ 中学卒業までの子供には児童手当などがあるが、高校や大学進学する子供に対して、これからお金がかかる年齢には手当などが無く、母子家庭での進学は経済的に厳しいので、そういう点など支援があると助かります。(40代、母親)
- ・ ひとり親制度についてはとても助かっています。特にひとり親家庭休養ホームを利用して旅行もすることができるのでとてもありがたいです。(40代、母親)

7 住環境

- ・ 保育園への通園路に迷惑駐車が多く、ベビーカーが車道に出て、走る車すれすれの道路の真ん中を歩かざるを得ない状況です。危険なので改善していただけるとうれしいです。（30代、父親）
- ・ 公園や歩道そこらじゅうに落ちているタバコの吸い殻を、1歳前後の子供は拾って口に入れようとする。また、歩きタバコの受動喫煙も、子供に大変迷惑。歩きたばこ、ポイ捨てを厳しく規制して欲しい。（30代、母親）
- ・ 子供たちが安全に歩けるように道路など危ないと思われるポイントに、せめて看板などを置いてほしい。また、小さな道路でも信号をつけてほしい。地域住民にアンケートなどして近所のキケンポイントなどを調べて出来ることをしてほしい。（40代、母親）
- ・ 大きな公園には不審者が出るので、子供だけでは遊びに行かせられません。プレーパークもしくは公園見守りのボランティアなどを配置すべき。（40代、母親）
- ・ 公園で昼遊んでいると、マンションからうるさいというどなり声がある。大声を出しているわけでもなく普通に遊んでいるだけでもうるさいと言われてしまう。一度だけでなく何度かあり、他のママ友も同じような事を言っていました。広くて遊びやすい公園なのにいつも誰も人が居ません。（30代、母親）
- ・ どの公園に行ってもボール遊びや花火等ができない事に不満があります。野球・サッカーをやるわけではなく、単なる小さな子供とのキャッチボールでさえも禁止されています。もう少し公園の禁止事項をやわらげてほしいと思います。（40代、父親）

8 バリアフリー

- ・ エレベーターを増やし、どこでもベビーカーで行ける様にして下さい。（40代、母親）
- ・ 男性トイレにもオムツ替えの場所があると良いと思います。（40代、父親）
- ・ 駅にエレベーターが無い、または、少なくともお年寄りやベビーカーで行列してしまう。階段しかない駅は1人では外出できなくなる。／乳幼児のオムツ替えやミルクやりのための場所が少ない。駅の多目的トイレは不衛生であり利用できない／赤ちゃん連れで、電車、バスを利用しづらい、優先席の意味をなしてない時がある。モラル向上の取組みをしてほしい。（30代、母親）

9 保健・医療

- ・ 産後の母親の体のケア・支援を充実させて欲しいです。体中の痛みや不調が出ることで多いので、乳幼児がいる母親の医療費も無料になる制度や整体などの治療が受けられるサービスが欲しいです。（30代、母親）
- ・ 子どもの医療費を高校3年まで無料にしてほしい（40代、母親）
- ・ 日ごろ、医療費がかからないのは大変ありがたいです。少しでもおかしいな？と思ったらすぐ病院に連れていくことができ、安心感を持っています。（30代、母親）
- ・ 子どもの予防接種のシステムをもっとわかりやすくして欲しい。「予防接種一覧カード」みたいなものを作って、病院でチェックすると引き換えに予診票をもらうとか。予診票をまとめて送付されても時期がバラバラだし保管しておくのも大変なので。（20代、母親）
- ・ 不妊治療への助成制度をもっと充実してほしいと思います。（30代、父親）
- ・ 子供の医療制度の金銭負担があまりにも違いすぎることに驚いています。せめて都内は同一にして欲しい。住んでいる地域で格差があるのは、特に医療ではおかしいと感じる。（50代、父親）

10 児童虐待

- ・ 最近、胸を痛めることは児童虐待のニュースです。都だけではなく全国でそのようなニュースが毎日毎日あがってきています。辛くて悲しい思いをする子供がゼロになってほしいと思います。1人でも多くの子供が、言うならば全員が笑って幸せと思えるためのお金の使い方してほしい、と行政には願います。虐待問題はもっともっと取り上げられるべきだし、それについてのサポートがより充実してほしいと思います。また、私達には何ができるのか、そういうことも教えてほしいと思います。（30代、母親）
- ・ 虐待は実母によるものが最も多いとされています。妊娠・出産まで社会人として働いていた女性が、出産後は一人で家で子育てすることにストレスを感じ虐待につながっています。核家族が増え、両親の協力が十分でない現代だからこそ、社会サービスを充実させて欲しいと思います。女性が一人で子育てを抱えすぎです。父親が子育てをしやすい環境を整えるべきです。（30代、母親）

- ・ 虐待で亡くなった子供のエピソード集を作って親全員に読ませるのが抑止力になると考えます。将来自分が同じあやまちを犯さない様、前もって、頭に入れておくといった事を社会的な働きかけとして行って欲しいと思います。（40代、父親）

11 広報

- ・ 子育てに関するサービスや施設等、今回のアンケート調査で初めてその存在を知ったものが多数あった。折角これだけのサービスや施設があるので、もっと分かりやすい形でのPRや周知活動を行って頂きたい。（40代、父親）
- ・ 行政の行っている色々なサービスや取組みについて全くと言っていい程周知されていないのではないかと思います。公共の場（学校・駅・図書館など）に提示などして告知するようにした方がよいと思います。（40代、母親）
- ・ どのような取組みを行っているのかが、ほとんど見えて来ません。見えないので利用のしようがありません。「こんな時は・・・」の様な事例と実際に利用された方の意見を、広く周知すべく取組んでもらいたいです。（30代、父親）
- ・ HPを見させて頂きましたが、少し見づらく感じました。子どもが産まれとても関心が広がっているのでスマホで見られるのはいいですね。ただ、見て、そうなんだ一と思うだけになってしまうので、それを見て少しでも意見や気持ちを伝えられたらいいなと思いました。定期的にメールで情報を配信したり、アプリなど、あったら便利なのかな？と思いました。市役所などでなんとなく見ていたポスターを覚えていて、それが東京都の福祉保健行政のものだとHPを見てわかりました。どんな事をする所かなどよくわかってない事が多いので、子どもを産んだら、病院で指導があったりパンフレットなどももらえると、より理解ができたり、身近に感じるのかな？と思いました。（30代、母親）

12 調査関係

- ・ アンケートをwebで回答できるようにしていただきたいです。幼い子どもたちを育てていると、1人で落ち着いて座って、長いアンケートに回答するのが難しいです。電車での移動時間・病院での待ち時間などのすきま時間にケータイ・スマホで簡単に回答できるのなら、回収率もあがると思います。（30代、母親）
- ・ 集まった調査結果を元にして、よりよき社会になることを願っています。（40代、父親）

- ・ このアンケートはまどろっこしくて分かりにくい。もっと、次に進むのがどこか分かりやすくしてほしい。（20代、母親）
- ・ とても大切な内容の調査である事はわかるのですが調査項目が多く大変でした・・・負担感のないアンケートにしていただけると助かります。（30代、母親）

13 その他

- ・ 昨今、少子化がとても大きな社会問題であるのに、社会全体として、安心して出産、子育てしてもらおうという雰囲気はまだ醸成されていないと感じています。特に残念に感じるのは、公共の場において、小さい子供を連れてきた方に対する他の人の思いやり、配慮に欠いた態度、酷い場合には邪険にされるような場面を目にする時です。子供にルール・マナーを守らせない、躰のなっていない親、さらには親自身も守ってない場合もあるなど、このような親自身を是正させる必要もありますが、やはり社会全体として、子供、そして子育て世代（特に子供が小さい時）に対する思いやりや配慮する雰囲気が醸成されれば安心して出産、子育てできるようになり、出生率の増加にも繋がるのではと思います。（30代、父親）
- ・ 福祉の仕事に関わるものとして、もっと人員を配置、専門性の向上をはかっていただきたい。（40代、母親）
- ・ 子育て世代への税金の優遇などを通して、子供の増加施策をとるべきではないか。他府県より先進的で重点的な政策でリードしてほしい。（40代、父親）
- ・ キャラクター作り等ではなく、区と連携してもっと活動をアピールしてはどうでしょうか。そういった部分への税金の投入は必要と思います（最初は失敗も多いでしょうが未来への投資）。経済活動としては大都市ですが福祉を拡大させて、これからの子供達が成長するより良い環境整備を進めて欲しい。（40代、父親）
- ・ 障害児支援の提供体制をもっと整えてほしい。障害児（知的などだけでなく情緒障害でも）も通えるスイミングスクール、習い事も認め、広めて欲しい。また、その情報も分かりやすく提供して欲しい。支援級の子も行ける高校を増やして欲しいし、進学幅を広げて欲しい。発達障害の子どもは、グレーも含めて増えているので、もっと目を向けて欲しいです。（40代、母親）

